

[調査 1]

満足度調査

◎ 結果概要について

◆ 調査の目的

満足度などの「市民の気持ち」を測り、経年変化を比較することにより、第5次留萌市総合計画の進行管理を行うことを目的にアンケートを実施。

◆ 回答者属性

今年度の調査は、昨年同様に意識調査と満足度調査を一体化した調査票様式により実施しました。

回収率は、昨年度の30.1%を32件上回る333件の回答があり、3.2%増加の33.3%となっている。

このうち性別の構成としては、昨年度に比べ男性が0.9%増の41.1%、女性が0.8%減の55.3%（無回答3.6%）となっている。

年代別の構成としては、20代、30代、60代がそれぞれ増加しており、10代、40代、50代、70代以上がそれぞれ減少している。特に60代は3.8%増となっており、前回と比較して大きく変動している。

◆ 満足度調査

満足である割合が高いのは、「健康管理に気をつけている（86.6%）」が80%を超えており、昨年度の84.4%から2.2%増加している。「留萌の文化・歴史を大切にしたい

（75.9%）」「留萌はごみを減らしリサイクルに努めている（71.6%）」「留萌は海や山など自然と調和がとれている（70.2%）」が70%を超えており、中でも「留萌の文化・歴史を大切にしたい」は前年度の65.6%から10.3%上昇している。その他「地元産品であることを意識して買い物をしている（59.9%）」「留萌の広報誌は、読みやすくわかりやすい

（56.7%）」が50%を超えており、「留萌の生活道路は、日常を生活するうえで必要最小限の除雪がされている（47.2%）」「税や使用料などの市民負担について理解している

（45.8%）」「留萌のまちなみ（景観・景色・眺め）はすばらしい（45.7%）」「留萌市役所や職員を信頼している（42.5%）」が40%を超えている。

反対に不満である割合が高いのは、「中心部ににぎわいがあり、商業・サービス機能などが充実していること（91.4%）」であり、昨年度の90.5%から0.9%増となっている。「商店街への魅力（87.7%）」「老後の暮らしへの不安や心配（80.0%）」がいずれも昨年度に引き続き80%を超えている。